

問題【社会】

日露戦争前後の出来事について以下の問いに答えましょう。

- ① 義和団が唱えていたスローガンを漢字4字で何と言いますか。
- ② 1902年、ロシアと対抗するために日本が同盟を結んだ国はどこですか。
- ③ 日露戦争の後に結ばれた条約は何ですか。
- ④ 日本とロシアを仲介したアメリカの大統領は誰ですか。
- ⑤ ③で賠償金がなかったことにより、東京で起こった暴動を何と言いますか。

豆知識 雑学コラム

大きな犠牲を払って勝利

日清戦争の勝利も東の間、三国干渉によってロシアの脅威にさらされます。列強であり、国力も日本とは段違いのロシアに対し、どのように対処したのでしょうか。

日清戦争の後の中国（清）は列強による支配に反発して、欧米勢力を排除する動きが高まります。「扶清滅洋」をスローガンに掲げた義和団が各国の公使館を包囲し、清もそれに追随する形で欧米に宣戦布告します（義和団事件）。日本やロシアなどの連合軍はこれを鎮圧するために軍隊を派遣します。しかし、その後ロシアは満州に軍を留めて支配しようとする動きをとります。ロシアの動きに対して、日本は清での影響力を保ちたいイギリスと利害関係が一致したことで日英同盟を結びます。イギリスと同盟は結んだものの、戦争で勝てる見込みが少ないため、何とか外交での解決を探ります。

しかし交渉は失敗し、ロシアとの戦争をせざるを得ない状況に追い込まれます。何度も内閣総理大臣を務める伊藤博文でさえも、ロシアと戦争になった場合の悲壮の決意を述べています。

1904年、ついに日露戦争が始まります。バルチック艦隊を破るなどの戦果をあげますが、日本の被害も甚大で戦争の継続が限界に達したことから、アメリカを通じてロシアとの交渉を探ります。ロシアはバルチック艦隊が敗れたことに加え、国内で革命運動が起こるなどの状況から交渉に応じます。日本はロシアとポーツマス条約を結んで戦争を収束させますが、賠償金を得られなかったことで、日比谷焼き打ち事件が起こるなど民衆の不満は爆発します。

大きな被害を出しながらも日清・日露戦争を経て欧米諸国の日本を見る目は変わりました。アジアの小国から欧米と肩を並べるまでの実力をつけたことで、日本は国際的な立場を確立したと言えるでしょう。しかし、これが後々の戦争にも影響していくのは、歴史の難しさを表しているのではないのでしょうか。

【解答】

日露戦争 ⑤

ポーツマス条約 ③

日英同盟 ④

シベリア ②

扶清滅洋 ①